

会 議 録

1 会議名

平成30年度第2回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

①提案者による提案説明、質疑応答

②委員協議・採決

③追加募集の実施について

3 開催日時

平成30年5月30日（水）午後7時00分から午後8時02分まで

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、小林奎一、佐藤寿美子、
佐藤峰生、坪田 剛、寺島和枝、荷屋和夫、平野宏一、山田ヒロ子、
横田正美（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任

8 発言の内容

【滝澤センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

・挨拶

- ・会議録の確認：佐藤峰生委員に依頼

議題【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

- ・資料「平成30年度 谷浜・桑取区地域活動支援事業提案書受付一覧（担当課所見あり）」に基づき説明
- ・本日の進め方について説明

【高橋会長】

では、これから各団体の提案者からお越しいただきヒアリングを行う。

最初に「No.1 谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.1 谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等はないため終了とする。

次に「No.2 地域の歴史的建造物活用事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.2 地域の歴史的建造物活用事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等はあるか。

【平野委員】

乳母獄神社で祭り等は行っているのか。

【提案No.2 地域の歴史的建造物活用事業提案者】

お祭りは行っている。そして、2、3年前から、ほかの地域の方々からも見学に来ていただいている。

【佐藤峰生委員】

来年度以降も修繕した建物を使って何か行う予定はあるのか。

【提案No.2 地域の歴史的建造物活用事業提案者】

地元のNPO法人と協力し地域振興に繋がるようなことを実施していきたいと考えている。

【高橋会長】

ほかに質問等がないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.3 谷浜和泉会設立50周年記念事業」について、提案者へ補足説明を求め
る。

【提案No.3 谷浜和泉会設立50周年記念事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等はあるか。

【安達副会長】

講演会を行うということだが、講師は決まっているのか。

【提案No.3 谷浜和泉会設立50周年記念事業提案者】

採択後に交渉する予定である。

【高橋会長】

ほかに質問等がないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.4 バレーボールを通じた青少年健全育成事業」について、提案者へ補足説
明を求める。

【提案No.4 バレーボールを通じた青少年健全育成事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等はあるか。

【寺島委員】

構成員数が8人となっているが、牧区と合同チームを作っていると聞いている。これ
は全て谷浜・桑取区の子どもか。

【提案No.4 バレーボールを通じた青少年健全育成事業提案者】

谷浜・桑取区の子どもだけで8人である。試合の際は4年生以上を対象としているた
め、牧区の子ども達と一緒にいる。

【高橋会長】

ほかに質問等はないので終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.5 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業」について、提案者へ補足説明を
求める。

【提案No.5 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等がないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.6 共に生き、地域の共生・連帯を後世に伝える事業」について、提案者へ
補足説明を求める。

【提案No.6 共に生き、地域の共生・連帯を後世に伝える事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等はあるか。

【平野委員】

担当課からの所見の中に「当該地は借地であることから…」と記載されているが、中
学校全てが借地なのか。

【提案No.6 共に生き、地域の共生・連帯を後世に伝える事業提案者】

借地である。そのため、基礎工事をするような建造物は難しいとのことである。

そこで、今回の事業とは別に私どもで考えているのは、杭を打ち単管を組んで雨が当
たらないようにし、冬になったら外せるような簡易的なものを作りたいと思っている。
現在も冬囲いとして像にブルーシートを被せているが、それでも劣化してしまう。

【平野委員】

所有者は区外の人なのか。

【提案No.6 共に生き、地域の共生・連帯を後世に伝える事業提案者】

複数の地主がいると聞いている。

【安達副会長】

提案者は提案について説明に来ているので、今は像の修復についての質問をしていた
だきたい。

【高橋会長】

像については、確か10年くらい前に造られたものだと思う。また10年後に修復しなければいけないと思うのも寂しいが、また10年後も像が重要な存在であれば、その時点で話し合いをしたいと思う。

ほかに質問等はないので終了とする。

— 提案者退室 —

【高橋会長】

それでは、委員協議に入る。

最初に「No.1 谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業」について、意見等はないので、当事業について、賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.2 地域の歴史的建造物活用事業」についてはどうか。

【荷屋委員】

イベントを何度も開催するというのであれば良いのではないか。

【安達副会長】

ヒアリングの際、毎年イベントを行いたいとおっしゃっていた。

【佐藤峰生委員】

舞舞台を修復することをきっかけとして、今年は新舞踊を行う。以前、提案者からお祭りは春と秋に開催するが、それとは別に加賀街道を歩いた後、乳母獄神社でお昼を食べ、舞舞台を会場にして住民が集まるイベントを毎年開催したいという話を聞いた。地元だけでは大変なので地元のNPO法人等から知恵を借りてイベントを行うと言っていたことから、継続的な活動をするのであれば賛成したいと思う。

【滝澤センター長】

提案者からは何回か事務局へ来ていただき話し合いを重ねてきた。その際、毎年イベントを行っていききたいが地元だけで行っていくのは難しいとおっしゃっていた。NPO法人や近隣町内等から、いろいろなアイデアをいただきながらの継続してイベント等を行っていききたいということなので、委員の皆さんからも御協力をいただきたい。

【高橋会長】

ほかに意見等はないので、当事業について賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

「No.3 谷浜和泉会設立50周年記念事業」についてはどうか。

【安達副会長】

記念誌を作成することは良いと思うが、バックはどうなのかとってしまった。

【高橋会長】

会合等に持って行く際に使っていただければ良いのではないかと。

ほかに意見等はないので、当事業に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.4 バレーボールを通じた青少年健全育成事業」について、意見等はないので、当事業について賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.5 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業」について、意見等はないので、当事業について賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.6 共に生き、地域の共生・連帯を後世に伝える事業」について、意見等はないので、当事業について賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

以上で採択審議は終了とする。

次に追加募集について事務局へ説明を求める。

【千田主任】

採択審議の結果、残額については292万3,000円となっている。この残額に対し追加募集を行うか、行わないか協議していただきたい。

【高橋会長】

- ・協議の結果、追加募集をすることで委員から同意を得る

では、追加募集の期間について再度事務局へ説明を求める。

【千田主任】

事務局案としては、6月15日号の広報上越に併せて地域協議会だよりを発行し周知したいと考えている。募集期間は7月2日（月）から7月17日（火）までとしたい。

以上の案でよろしいか協議していただきたい。

【高橋会長】

- ・事務局案のとおり進めることで委員から同意を得る
次に「その他」について再度事務局へ説明を求める。

【千田主任】

今回の協議会は7月末を予定している。後日、アンケートにより日程調整させていただくので回答をお願いしたい。

内容は、地域活動支援事業の全体協議のほか、今年度、自治・地域振興課で地域活動支援事業の検証を行うため、その前段として地域協議会でも検証を行っていただきたい。

- ・次回以降の会議を午後6時30分から行うことを報告

【高橋会長】

地域協議会でも検証を行っていただきたいということなので皆さんも何か考えがあれば発言いただきたい。

今までも大学の先生を中心としながら検証を行ってきており、有効活用されていると評価されているが、本当にそれが地域に根差したものになっているのかというあたりで皆さんから意見をいただきたい。

ほかに何かあるか。

- ・会日の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。